

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 可児工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月10日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 可児工業高等学校 会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者 委 員 大杉 守平 中恵土自治連合会会長
佐橋 紀康 可児市立図書館長
岩田 美鈴 元本校PTA役員
山口 小百合 元本校PTA役員
古澤 敏典 本校PTA副会長

学 校 側 加藤 昌宏 校長
青山 知喜 教頭
熊崎 俊介 教務主任
林 貴康 生徒指導主事
水野 孝二 進路指導主事
宮田 忠夫 工業部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和7年度教育指導の重点及び学校運営計画

今年度の本校の社会的役割等(スクールミッション)、学校教育目標ならびに3つの方針(スクールポリシー)、教育指導の重点、それらの達成に必要な具体的な取り組み・方策について、参加委員全員からの承認を得た。

(2) 授業参観の感想

意見1:最新機器の他にも、古いが基本となるものを使った実習など、工業高校ならではの授業が印象に残った。今後も「できた」という実感が味わえる実習を心がけてほしい。

意見2:他校ではあるが私自身も工業高校の機械科出身で、やはり基本的なことは昔から変わらないなといった印象を受けた。一方で、海外の工業高校は現在どのようなことを生徒に学ばせているのか、といった視点があっても面白いのではないか。

意見3:実習等の中で生徒が安全に学んでいける環境づくりに今後も力を入れてほしい。そのた

めには、生徒自らが危険を感じ、気がつく必要がある。「こういった危険が潜んでいるかもしれない」といった発想ができるようなトレーニングを繰り返し行うとよい。

意見4：PC室などは比較的空調が効いていたが、なかなか厳しい環境で実習等を行っている場所もあった。スポットクーラーのようなものがあったとしてもよいのではないか。

⇒スポットクーラーも若干はあるが、工業高校は実習室が多すぎて全てに対応することは難しい。空調に関する県の予算も限られているが、今後も働きかけていきたい。

(3) 本校に対する意見・提言

意見1：テレビ等の影響からか、若い人の転職が多い印象を受ける。少子化の時代であり、予算の関係もあると思うが、ものづくりの魅力を積極的に発信し、生徒が「これをやってみよう」と思うような新しい学習内容を考えていけるとよい。

⇒一般的に工業高校出身者の離職率は低く、全国平均が4割程度であるのに対して、本校は2割を切る程度でかなり少ない。しかし、これに満足することなく、離職率ゼロを目指した進路指導を行うとともに、インスタグラム等を活用した情報発信を通して、学びたいと思ってもらえる学校を目指したい。

意見2：本校へ来るのは初めてであったが、生徒が挨拶をしてくれて、この会場まで案内してくれた。元気で明るい学校との印象をもった。

意見3：本校の卒業生から、「色々な経験ができて工業高校は楽しい」という話を聞く。そういったことを中学生にも伝えられたらよい。

意見4：社会ではDX化が進んでいる。ICT機器を活用する能力を育成するためにも、それらを活用する学習をさらに取り入れるとともに、教える側のスキルアップの機会確保も必要である。

意見5：図書館を見せていただいたが、工業高校らしく資格試験に関する書物の一層の充実が図られるとよい。

意見6：進路指導においても求人票のデジタルでの提供などICT化を進めていること、並びに地元企業との連携事業などを数多く計画していることは、すばらしい。

意見7：保護者としては、3年生でその後一生働く就職先を決めてしまうことに不安がある。

⇒進路指導部としては、就職ガイダンスやインターンシップ、希望者に対して定期考査期間中の午後に企業見学等の行事を企画するなど、ミスマッチが起こらないよう指導しているが、今後も保護者との連携を取りながら不安を払拭していく指導を心がけたい。

意見8：就職先を決定する際、複数の会社の入社試験を受験することはできないのか。

⇒複数社への応募の仕組みはあるが、11月以降と時期が遅い。また、大学生と違い、複数社を受験してその企業に就職するかしないかをはっきりさせない状況を高校側が作ることは難しいため、ある段階までは一人一社の受験という取決めになっている。

意見9：本校のインスタグラムでの発信については、日頃からチェックさせてもらっているが、大変よい。さらに推し進めてほしい。

意見10：先日、化学技術工学科のワークショップがあったが、集客が少なかったという話を聞いた。インスタグラムで「やります」というお知らせの他に、「こんなものができます」といった完成がイメージできる情報があると、より面白さが伝わるのではないか。

(4) 本校からの問いに対するご意見

- ・現在の校則では、安全上の理由から「自転車通学で使用する自転車はシティサイクルのみ」となっているが、マウンテンバイクなどシティサイクル以外の自転車の使用について、どのように思われるか。

意見1：マウンテンバイクなどはシティサイクルに比べて安定性が低いため、ヘルメット着用を必須にするなどのルールにするのであれば、認めてもよい。ただし、シティサイクルであればヘルメットは着用しなくてもよい、などといった間違った解釈をされないよう、注意が必要である。

意見2：安全上のことを考えると難しい問題だが、地域の小学生も格好のよい自転車に乗っている。厳しめのルールの下でなら認めてもよい。

意見3：早く走れる自転車で、通学時間を短縮したいという生徒もいる。交通安全についてしっかりと守るよう指導しながら、前向きに考えてもよいのではないか。

意見4：昔は結構危ないことをしながらも、自己管理ができていた。あれダメ、これダメという指導もよいが、ある程度は危険に対する判断を自分でさせてやるのもよい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、各委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・通学に使用する自転車に関する内容など、委員の方々から貴重なご意見やご助言をいただいた。それらをもとに、今後もよりよい学校運営を心がけていく。また、昨年度以上に地域や地元企業との連携を密にし、本校の教育目標達成に向けて取り組んでいきたい。
- ・インスタグラムの活用はもちろん、中学校への出前授業といった新しい取り組みにも挑戦して本校への入学を希望する中学生を少しでも増やし、地域から求められる高校となれるよう、積極的にその魅力を発信していく。